

平成30年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」

【 教育カリキュラム 】



技術者学び直し講座のモデルとなるITエンジニアを対象とした
eラーニング講座開設およびガイドラインの実証

平成30年度

「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」

教育カリキュラム

技術者学び直し講座のモデルとなる IT エンジニアを対象とした
e ラーニング講座開設およびガイドラインの実証

カリキュラム表

| 学科： アジャイル | | 担当講師： |
|--|-----------------------|------------|
| 科目名： アジャイルのシステム開発 | | 授業回数： 27 回 |
| 科目概要：アジャイルを用いたシステム開発をを学習する 課題のプログラミングを通じてプログラム言語の習得を目指す アジャイル開発手法の知識獲得と課題演習による技術修得を目指す | | |
| 評価方法：課題の完成度により評価 | | |
| 前提知識：コンピュータリテラシー オブジェクト指向プログラム技術 システム開発技術 | | |
| 回数 | 学習項目 | 備考 |
| 1 | Rails基礎 (1) | |
| 2 | Rails基礎 (2) | |
| 3 | Railsテスト基礎 (1) | |
| 4 | Railsテスト基礎 (2) | |
| 5 | データベース設計、多対多の関連付け (1) | |
| 6 | データベース設計、多対多の関連付け (2) | |
| 7 | データベース設計、多対多の関連付け (3) | |
| 8 | 商品一覧の作成 (1) | |
| 9 | 商品一覧の作成 (2) | |
| 10 | 商品一覧の作成 (3) | |
| 11 | ログイン認証 (1) | |
| 12 | ログイン認証 (2) | |
| 13 | デザインテンプレート (1) | |
| 14 | デザインテンプレート (2) | |
| 15 | 画像アップロード (1) | |

| | | |
|----|-----------------|--|
| 16 | 画像アップロード (2) | |
| 17 | 注文 (1) | |
| 18 | 注文 (2) | |
| 19 | メール送信 | |
| 20 | 状態遷移 (1) | |
| 21 | 状態遷移 (2) | |
| 22 | セッション/カート機能 | |
| 23 | 複数対応 | |
| 24 | 検索機能の作り方 (1) | |
| 25 | 検索機能の作り方 (2) | |
| 26 | アプリケーションの公開 (1) | |
| 27 | アプリケーションの公開 (2) | |

| 第1コマ | |
|-------|---|
| タイトル | Rails基礎 (1) |
| 目標 | Railsについての基礎知識を習得する |
| 概要 | 1. Ruby on Railsについて 2. Cloud9上でRailsアプリケーションを作成 |
| 座学・演習 | 座学 |
| 使用教材 | スライド |
| 事前学習 | なし |
| 宿題 | なし |
| 特記事項 | なし |
| 所要時間 | |

| 学習達成度評価指標 |
|--|
| Ruby on Railsについて A：十分理解できた B：大体理解できた C：少し理解できた D：理解できなかった |
| Cloud9上でRailsアプリケーションを作成 A：完全にできた B：大体できた C：あまりできなかった D：できなかった |

| 第2コマ | |
|-------|--|
| タイトル | Rails基礎 (2) |
| 目標 | Railsアプリケーションの構造を理解する |
| 概要 | 1. アプリの構造解説 1.1 app~,Gemfileを【scaffoldコマンド】と絡めて説明 1.2 CRUDについて 1.3 テーブル作成 1.4 routes.rb 1.5 users_controller.rb 1.6 Controllerの定義 1.7 StrongParameter 1.8 /views/users/index.html.erb 1.9 user.rb |
| 座学・演習 | 座学 |
| 使用教材 | スライド |
| 事前学習 | なし |
| 宿題 | なし |
| 特記事項 | なし |
| 所要時間 | |

| 学習達成度評価指標 |
|--|
| app~,Gemfileについて A：十分理解できた B：大体理解できた C：少し理解できた D：理解できなかった |
| CRUDについて A：十分理解できた B：大体理解できた C：少し理解できた D：理解できなかった |
| テーブル作成について A：十分理解できた B：大体理解できた C：少し理解できた D：理解できなかった |
| routes.rbについて A：十分理解できた B：大体理解できた C：少し理解できた D：理解できなかった |
| users_controller.rbについて A：十分理解できた B：大体理解できた C：少し理解できた D：理解できなかった |
| Controllerの定義について A：十分理解できた B：大体理解できた C：少し理解できた D：理解できなかった |

StrongParameterについて

A：十分理解できた B：大体理解できた C：少し理解できた D：理解できなかった

/views/users/index.html.erbについて

A：十分理解できた B：大体理解できた C：少し理解できた D：理解できなかった

user.rbについて

A：十分理解できた B：大体理解できた C：少し理解できた D：理解できなかった

| 第3コマ | |
|-------|--|
| タイトル | Railsテスト基礎 (1) |
| 目標 | RailsのテストツールであるRSpecについての基礎知識を習得する |
| 概要 | 1. テスティングツールについて 1.1 概要説明 2. RSpecの環境構築 2.1 必要なgemのインストール 2.2 Rails設定ファイルの修正 2.3 testフォルダの削除 3. RSpecのテンプレート作成 |
| 座学・演習 | 座学 |
| 使用教材 | スライド |
| 事前学習 | なし |
| 宿題 | なし |
| 特記事項 | なし |
| 所要時間 | |

| 学習達成度評価指標 | |
|--|--|
| テスティングツールについて A：十分理解できた B：大体理解できた C：少し理解できた D：理解できなかった | |
| 必要なgemのインストール A：完全にできた B：大体できた C：あまりできなかった D：できなかった | |
| Rails設定ファイルの修正 A：完全にできた B：大体できた C：あまりできなかった D：できなかった | |
| testフォルダの削除 A：完全にできた B：大体できた C：あまりできなかった D：できなかった | |
| RSpecのテンプレート作成 A：完全にできた B：大体できた C：あまりできなかった D：できなかった | |

| 第4コマ | |
|-------|---|
| タイトル | Railsテスト基礎 (2) |
| 目標 | RSpecの具体的な実行方法を習得する |
| 概要 | 1. RSpecの実行方法 1.1 全般説明 1.2 Model テスト 1.3 Controller テスト 1.4 Feature テスト |
| 座学・演習 | 座学 |
| 使用教材 | スライド |
| 事前学習 | なし |
| 宿題 | なし |
| 特記事項 | なし |
| 所要時間 | |

| 学習達成度評価指標 | | | |
|----------------|-----------|-------------|------------|
| RSpecの実行方法について | | | |
| A：十分理解できた | B：大体理解できた | C：少し理解できた | D：理解できなかった |
| Model テスト | | | |
| A：完全にできた | B：大体できた | C：あまりできなかった | D：できなかった |
| Controller テスト | | | |
| A：完全にできた | B：大体できた | C：あまりできなかった | D：できなかった |
| Feature テスト | | | |
| A：完全にできた | B：大体できた | C：あまりできなかった | D：できなかった |

| 第5コマ | |
|-------|--|
| タイトル | データベース設計、多対多の関連付け (1) |
| 目標 | データベース設計についての基礎知識を習得する |
| 概要 | 1. ActiveRecordとは 2. データベース設計の基礎 3. 多対多の関連付け |
| 座学・演習 | 座学 |
| 使用教材 | スライド |
| 事前学習 | なし |
| 宿題 | なし |
| 特記事項 | なし |
| 所要時間 | |

| 学習達成度評価指標 |
|---|
| ActiveRecordについて A：十分理解できた B：大体理解できた C：少し理解できた D：理解できなかった |
| データベース設計の基礎について A：十分理解できた B：大体理解できた C：少し理解できた D：理解できなかった |
| 多対多の関連付けについて A：十分理解できた B：大体理解できた C：少し理解できた D：理解できなかった |

| 第6コマ | |
|-------|--|
| タイトル | データベース設計、多対多の関連付け (2) |
| 目標 | ActiveRecordの代表的なメソッドについて学ぶ |
| 概要 | 1. ActiveRecordの代表的なメソッド 1.1 all 1.2 find 1.3 find_by 1.4 where 1.5 first 1.6 last 1.7 order 1.8 limit 1.9 ActiveRecord::Relationについて |
| 座学・演習 | 座学 |
| 使用教材 | スライド |
| 事前学習 | なし |
| 宿題 | なし |
| 特記事項 | なし |
| 所要時間 | |

| 学習達成度評価指標 | | | |
|-------------|-----------|-----------|------------|
| allについて | | | |
| A：十分理解できた | B：大体理解できた | C：少し理解できた | D：理解できなかった |
| findについて | | | |
| A：十分理解できた | B：大体理解できた | C：少し理解できた | D：理解できなかった |
| find_byについて | | | |
| A：十分理解できた | B：大体理解できた | C：少し理解できた | D：理解できなかった |
| whereについて | | | |
| A：十分理解できた | B：大体理解できた | C：少し理解できた | D：理解できなかった |
| firstについて | | | |
| A：十分理解できた | B：大体理解できた | C：少し理解できた | D：理解できなかった |
| lastについて | | | |
| A：十分理解できた | B：大体理解できた | C：少し理解できた | D：理解できなかった |

| | | | | |
|----------------------------|-----------|-----------|-----------|------------|
| orderについて | A：十分理解できた | B：大体理解できた | C：少し理解できた | D：理解できなかった |
| limitについて | A：十分理解できた | B：大体理解できた | C：少し理解できた | D：理解できなかった |
| ActiveRecord::Relationについて | A：十分理解できた | B：大体理解できた | C：少し理解できた | D：理解できなかった |

| 第7コマ | |
|-------|--|
| タイトル | データベース設計、多対多の関連付け (3) |
| 目標 | ECサイトのデータベースを構成する |
| 概要 | 1. 例題 1.1 アプリケーションの作成 1.2 Teacherモデルの作成 1.3 Lessonモデルの作成 1.4 Appointmentモデルの作成 2. 問題 2.1 ECサイトデータベース構成 |
| 座学・演習 | 座学 |
| 使用教材 | スライド |
| 事前学習 | なし |
| 宿題 | なし |
| 特記事項 | なし |
| 所要時間 | |

| 学習達成度評価指標 | | | |
|-------------------|---------|-------------|----------|
| アプリケーションの作成 | | | |
| A：完全にできた | B：大体できた | C：あまりできなかった | D：できなかった |
| Teacherモデルの作成 | | | |
| A：完全にできた | B：大体できた | C：あまりできなかった | D：できなかった |
| Lessonモデルの作成 | | | |
| A：完全にできた | B：大体できた | C：あまりできなかった | D：できなかった |
| Appointmentモデルの作成 | | | |
| A：完全にできた | B：大体できた | C：あまりできなかった | D：できなかった |
| ECサイトデータベース構成 | | | |
| A：完全にできた | B：大体できた | C：あまりできなかった | D：できなかった |

| 第8コマ | |
|-------|---|
| タイトル | 商品一覧の作成 (1) |
| 目標 | タイムゾーンの設定を行う |
| 概要 | 1. ECサイトの概要とタイムゾーンの設定 1.1 解説 1.2 例題 1.3 問題 |
| 座学・演習 | 座学 |
| 使用教材 | スライド |
| 事前学習 | なし |
| 宿題 | なし |
| 特記事項 | なし |
| 所要時間 | |

| 学習達成度評価指標 |
|---|
| ECサイトの概要とタイムゾーンの設定について A：十分理解できた B：大体理解できた C：少し理解できた D：理解できなかった |
| 例題 A：完全にできた B：大体できた C：あまりできなかった D：できなかった |
| 問題 A：完全にできた B：大体できた C：あまりできなかった D：できなかった |

| 第9コマ | |
|-------|---|
| タイトル | 商品一覧の作成 (2) |
| 目標 | 画面遷移とルーティングの設定を行う |
| 概要 | 1. 画面遷移とルーティングの設定 1.1 解説 1.2 例題 1.3 問題 |
| 座学・演習 | 座学 |
| 使用教材 | スライド |
| 事前学習 | なし |
| 宿題 | なし |
| 特記事項 | なし |
| 所要時間 | |

| 学習達成度評価指標 |
|---|
| 画面遷移とルーティングの設定について A：十分理解できた B：大体理解できた C：少し理解できた D：理解できなかった |
| 例題 A：完全にできた B：大体できた C：あまりできなかった D：できなかった |
| 問題 A：完全にできた B：大体できた C：あまりできなかった D：できなかった |

| 第10コマ | |
|-------|---|
| タイトル | 商品一覧の作成 (3) |
| 目標 | 中間テーブルへのデータ登録を設定する |
| 概要 | 1.中間テーブルへのデータ登録設定 1.1 解説 1.2 例題 1.3 問題 |
| 座学・演習 | 座学 |
| 使用教材 | スライド |
| 事前学習 | なし |
| 宿題 | なし |
| 特記事項 | なし |
| 所要時間 | |

| 学習達成度評価指標 |
|--|
| 中間テーブルへのデータ登録設定について A：十分理解できた B：大体理解できた C：少し理解できた D：理解できなかった |
| 例題 A：完全にできた B：大体できた C：あまりできなかった D：できなかった |
| 問題 A：完全にできた B：大体できた C：あまりできなかった D：できなかった |

| 第11コマ | |
|-------|---|
| タイトル | ログイン認証 (1) |
| 目標 | Deviseについての基礎知識を習得する |
| 概要 | 1. Deviseとは 1.1 Devise 1.2 今回説明できなかった機能 2. 例題 2.1 Deviseのインストール 2.2 マイページの作成 2.3 ログアウトの実装 2.4 ログイン中のユーザの取得 2.5 デザインの変更 2.6 テストの追加 2.7 ログアウトした状態でのテスト 2.8 ログインした状態でのテスト |
| 座学・演習 | 座学 |
| 使用教材 | スライド |
| 事前学習 | なし |
| 宿題 | なし |
| 特記事項 | なし |
| 所要時間 | |

| 学習達成度評価指標 | | | |
|---------------|-----------|-------------|------------|
| Deviseについて | | | |
| A：十分理解できた | B：大体理解できた | C：少し理解できた | D：理解できなかった |
| Deviseのインストール | | | |
| A：完全にできた | B：大体できた | C：あまりできなかった | D：できなかった |
| マイページの作成 | | | |
| A：完全にできた | B：大体できた | C：あまりできなかった | D：できなかった |
| ログアウトの実装 | | | |
| A：完全にできた | B：大体できた | C：あまりできなかった | D：できなかった |
| ログイン中のユーザの取得 | | | |
| A：完全にできた | B：大体できた | C：あまりできなかった | D：できなかった |

| | | | |
|----------------|---------|-------------|----------|
| デザインの変更 | | | |
| A：完全にできた | B：大体できた | C：あまりできなかった | D：できなかった |
| テストの追加 | | | |
| A：完全にできた | B：大体できた | C：あまりできなかった | D：できなかった |
| ログアウトした状態でのテスト | | | |
| A：完全にできた | B：大体できた | C：あまりできなかった | D：できなかった |
| ログインした状態でのテスト | | | |
| A：完全にできた | B：大体できた | C：あまりできなかった | D：できなかった |

| 第12コマ | |
|-------|--------------------------------------|
| タイトル | ログイン認証 (2) |
| 目標 | ECサイトの商品一覧にログイン認証を追加する |
| 概要 | 1. 問題 1.1 ECサイトの商品一覧に認証を追加してみましょう |
| 座学・演習 | 座学 |
| 使用教材 | スライド |
| 事前学習 | なし |
| 宿題 | なし |
| 特記事項 | なし |
| 所要時間 | |

| 学習達成度評価指標 |
|--|
| ECサイトの商品一覧に認証を追加 A：完全にできた B：大体できた C：あまりできなかった D：できなかった |

| 第13コマ | |
|-------|--|
| タイトル | デザインテンプレート (1) |
| 目標 | デザインテンプレートについての理解を深める |
| 概要 | 1. デザインテンプレート 概要説明 2. Bootstrapインストール |
| 座学・演習 | 座学 |
| 使用教材 | スライド |
| 事前学習 | なし |
| 宿題 | なし |
| 特記事項 | なし |
| 所要時間 | |

| 学習達成度評価指標 |
|---|
| デザインテンプレートについて A：十分理解できた B：大体理解できた C：少し理解できた D：理解できなかった |
| Bootstrapインストール A：完全にできた B：大体できた C：あまりできなかった D：できなかった |

| 第14コマ | |
|-------|--|
| タイトル | デザインテンプレート (2) |
| 目標 | デザインの適用を行う |
| 概要 | 1. デザインの適用 2. 国際化対応 (I18n) 3. YAMLファイルダウンロード |
| 座学・演習 | 座学 |
| 使用教材 | スライド |
| 事前学習 | なし |
| 宿題 | なし |
| 特記事項 | なし |
| 所要時間 | |

| 学習達成度評価指標 | | | |
|----------------|---------|-------------|----------|
| デザインの適用 | | | |
| A：完全にできた | B：大体できた | C：あまりできなかった | D：できなかった |
| 国際化対応 (I18n) | | | |
| A：完全にできた | B：大体できた | C：あまりできなかった | D：できなかった |
| YAMLファイルダウンロード | | | |
| A：完全にできた | B：大体できた | C：あまりできなかった | D：できなかった |

| 第15コマ | |
|-------|---|
| タイトル | 画像アップロード (1) |
| 目標 | Railsにおける画像アップロードについて学ぶ |
| 概要 | 1. Railsにおける画像アップロードの概要 2. gem paperclipの導入 2.1 解説 2.2 例題① 主な機能 2.3 例題② インストールと設定 |
| 座学・演習 | 座学 |
| 使用教材 | スライド |
| 事前学習 | なし |
| 宿題 | なし |
| 特記事項 | なし |
| 所要時間 | |

| 学習達成度評価指標 |
|--|
| Railsにおける画像アップロードについて A：十分理解できた B：大体理解できた C：少し理解できた D：理解できなかった |
| gem paperclipの導入について A：十分理解できた B：大体理解できた C：少し理解できた D：理解できなかった |
| gem paperclipの主な機能 A：完全にできた B：大体できた C：あまりできなかった D：できなかった |
| gem paperclipのインストールと設定 A：完全にできた B：大体できた C：あまりできなかった D：できなかった |

| 第16コマ | |
|-------|--|
| タイトル | 画像アップロード (2) |
| 目標 | 商品モデル、コントローラ、商品一覧ページの変更を行う |
| 概要 | 1. 商品モデル、コントローラおよび商品一覧ページの変更 1.1 問題 2. コラム「どうしてそのgemを使いますか？」 |
| 座学・演習 | 座学 |
| 使用教材 | スライド |
| 事前学習 | なし |
| 宿題 | なし |
| 特記事項 | なし |
| 所要時間 | |

| 学習達成度評価指標 |
|---|
| 商品モデル、コントローラおよび商品一覧ページの変更 A：完全にできた B：大体できた C：あまりできなかった D：できなかった |

| 第17コマ | |
|-------|--|
| タイトル | 注文 (1) |
| 目標 | 入力画面、確認画面などの作成を行う |
| 概要 | 1. 確認画面 2. 例題 2.1 ルーティングの作成 2.2 モデルの作成 2.3 入力画面の作成 2.4 確認画面の作成 2.5 完了画面の作成 2.6 一覧画面の作成 2.7 レイアウトの変更 2.8 アクションごとにレイアウトを変更 2.9 コントローラごとにレイアウトを変更 |
| 座学・演習 | 座学 |
| 使用教材 | スライド |
| 事前学習 | なし |
| 宿題 | なし |
| 特記事項 | なし |
| 所要時間 | |

| 学習達成度評価指標 | |
|-----------|---|
| 確認画面について | A：十分理解できた B：大体理解できた C：少し理解できた D：理解できなかった |
| ルーティングの作成 | A：完全にできた B：大体できた C：あまりできなかった D：できなかった |
| モデルの作成 | A：完全にできた B：大体できた C：あまりできなかった D：できなかった |
| 入力画面の作成 | A：完全にできた B：大体できた C：あまりできなかった D：できなかった |
| 確認画面の作成 | A：完全にできた B：大体できた C：あまりできなかった D：できなかった |

| | | | |
|-------------------|---------|-------------|----------|
| 完了画面の作成 | | | |
| A：完全にできた | B：大体できた | C：あまりできなかった | D：できなかった |
| 一覧画面の作成 | | | |
| A：完全にできた | B：大体できた | C：あまりできなかった | D：できなかった |
| レイアウトの変更 | | | |
| A：完全にできた | B：大体できた | C：あまりできなかった | D：できなかった |
| アクションごとにレイアウトを変更 | | | |
| A：完全にできた | B：大体できた | C：あまりできなかった | D：できなかった |
| コントローラごとにレイアウトを変更 | | | |
| A：完全にできた | B：大体できた | C：あまりできなかった | D：できなかった |

| 第18コマ | |
|-------|----------------------------|
| タイトル | 注文 (2) |
| 目標 | ECサイトに注文機能を実装する |
| 概要 | 1. 問題 1.1 ECサイトに注文機能を実装 |
| 座学・演習 | 座学 |
| 使用教材 | スライド |
| 事前学習 | なし |
| 宿題 | なし |
| 特記事項 | なし |
| 所要時間 | |

| 学習達成度評価指標 |
|---|
| ECサイトに注文機能を実装 A：完全にできた B：大体できた C：あまりできなかった D：できなかった |

| 第19コマ | |
|-------|---|
| タイトル | メール送信 |
| 目標 | 商品購入後のメール送信機能を実装する |
| 概要 | 1. 説明 2. 問題 2.1 例題を参考に、商品の購入後にメールを送信する機能を実装 |
| 座学・演習 | 座学 |
| 使用教材 | スライド |
| 事前学習 | なし |
| 宿題 | なし |
| 特記事項 | なし |
| 所要時間 | |

| 学習達成度評価指標 |
|--|
| メール送信について A：十分理解できた B：大体理解できた C：少し理解できた D：理解できなかった |
| 問題 A：完全にできた B：大体できた C：あまりできなかった D：できなかった |

| 第20コマ | |
|-------|---|
| タイトル | 状態遷移 (1) |
| 目標 | 状態遷移についての基礎知識を習得する |
| 概要 | 1. 状態遷移とは 2. 例題 2.1 ActiveRecord::Enumの実装 2.2 テストの実行 |
| 座学・演習 | 座学 |
| 使用教材 | スライド |
| 事前学習 | なし |
| 宿題 | なし |
| 特記事項 | なし |
| 所要時間 | |

| 学習達成度評価指標 |
|---|
| 状態遷移について A：十分理解できた B：大体理解できた C：少し理解できた D：理解できなかった |
| ActiveRecord::Enumの実装 A：完全にできた B：大体できた C：あまりできなかった D：できなかった |
| テストの実行 A：完全にできた B：大体できた C：あまりできなかった D：できなかった |

| 第21コマ | |
|-------|--|
| タイトル | 状態遷移 (2) |
| 目標 | 状態遷移を実装する |
| 概要 | 1. 問題 1.1 商品の注文ステータスを管理するモデルを作成し、enumで状態遷移を実装 |
| 座学・演習 | 座学 |
| 使用教材 | スライド |
| 事前学習 | なし |
| 宿題 | なし |
| 特記事項 | なし |
| 所要時間 | |

| 学習達成度評価指標 |
|---|
| 商品の注文ステータスを管理するモデルを作成し、enumで状態遷移を実装 A：完全にできた B：大体できた C：あまりできなかった D：できなかった |

| 第22コマ | |
|-------|--|
| タイトル | セッション/カート機能 |
| 目標 | カート機能を実装する |
| 概要 | 1. セッション機能について 1.1 セッションとは何か 1.2 Railsでのセッションの機能について 1.3 セッションを使うときの注意点 2. セッションを利用したカート機能の実装 2.1 解説 2.2 例題① セッション管理テーブルの準備 2.3 例題② セッション登録機能の追加 2.4 問題 2.5 ステップ① セッション管理テーブルの準備 2.6 ステップ② セッション登録機能の追加 2.7 ステップ③ カート登録機能の追加 2.8 ステップ④ カート（買い物かご）一覧画面の編集 2.9 ステップ⑤ カート削除機能の追加 |
| 座学・演習 | 座学 |
| 使用教材 | スライド |
| 事前学習 | なし |
| 宿題 | なし |
| 特記事項 | なし |
| 所要時間 | |

| 学習達成度評価指標 | | | |
|------------------------|-----------|-----------|------------|
| セッションの概要について | | | |
| A：十分理解できた | B：大体理解できた | C：少し理解できた | D：理解できなかった |
| Railsでのセッションの機能について | | | |
| A：十分理解できた | B：大体理解できた | C：少し理解できた | D：理解できなかった |
| セッションを使うときの注意点について | | | |
| A：十分理解できた | B：大体理解できた | C：少し理解できた | D：理解できなかった |
| セッションを利用したカート機能の実装について | | | |
| A：十分理解できた | B：大体理解できた | C：少し理解できた | D：理解できなかった |

| | | | | |
|------------------------|------------|-----------|---------------|------------|
| セッション管理テーブルの準備 (例題①) | A : 完全にできた | B : 大体できた | C : あまりできなかった | D : できなかった |
| セッション登録機能の追加 (例題②) | A : 完全にできた | B : 大体できた | C : あまりできなかった | D : できなかった |
| 問題 | A : 完全にできた | B : 大体できた | C : あまりできなかった | D : できなかった |
| セッション管理テーブルの準備 (ステップ①) | A : 完全にできた | B : 大体できた | C : あまりできなかった | D : できなかった |
| セッション登録機能の追加 (ステップ②) | A : 完全にできた | B : 大体できた | C : あまりできなかった | D : できなかった |
| カート登録機能の追加 | A : 完全にできた | B : 大体できた | C : あまりできなかった | D : できなかった |
| カート (買い物かご) 一覧画面の編集 | A : 完全にできた | B : 大体できた | C : あまりできなかった | D : できなかった |
| カート削除機能の追加 | A : 完全にできた | B : 大体できた | C : あまりできなかった | D : できなかった |

| 第23コマ | |
|-------|---|
| タイトル | 複数対応 |
| 目標 | 注文管理画面で複数商品に対応できるようにする |
| 概要 | 1. 複数明細の購入・管理への変更 1.1 複数明細の購入 1.2 ステップ① 複数明細の購入処理テーブルの準備 1.3 ステップ② 複数明細の一括購入処理への変更 2. 複数明細の管理 2.1 注文管理画面で複数商品が扱えるように変更 |
| 座学・演習 | 座学 |
| 使用教材 | スライド |
| 事前学習 | なし |
| 宿題 | なし |
| 特記事項 | なし |
| 所要時間 | |

| 学習達成度評価指標 |
|--|
| 複数明細の購入について A：十分理解できた B：大体理解できた C：少し理解できた D：理解できなかった |
| 複数明細の購入処理テーブルの準備 A：完全にできた B：大体できた C：あまりできなかった D：できなかった |
| 複数明細の一括購入処理への変更 A：完全にできた B：大体できた C：あまりできなかった D：できなかった |
| 注文管理画面で複数商品が扱えるように変更 A：完全にできた B：大体できた C：あまりできなかった D：できなかった |

| 第24コマ | |
|-------|--|
| タイトル | 検索機能の作り方 (1) |
| 目標 | ransackについての基礎知識を習得する |
| 概要 | 1. ransackの使い方 1.1 インストールすると各種モデルにransackというメソッドが追加 2. 例題 2.1 顧客の検索画面を実装 2.2 scaffoldを使った一覧画面の作成 2.3 検索フォームの作成 2.4 検索処理の作成 2.5 ソート機能の追加 |
| 座学・演習 | 座学 |
| 使用教材 | スライド |
| 事前学習 | なし |
| 宿題 | なし |
| 特記事項 | なし |
| 所要時間 | |

| 学習達成度評価指標 | |
|---|--|
| ransackの使い方について | |
| A：十分理解できた B：大体理解できた C：少し理解できた D：理解できなかった | |
| 顧客の検索画面を実装 | |
| A：完全にできた B：大体できた C：あまりできなかった D：できなかった | |
| scaffoldを使った一覧画面の作成 | |
| A：完全にできた B：大体できた C：あまりできなかった D：できなかった | |
| 検索フォームの作成 | |
| A：完全にできた B：大体できた C：あまりできなかった D：できなかった | |
| 検索処理の作成 | |
| A：完全にできた B：大体できた C：あまりできなかった D：できなかった | |
| ソート機能の追加 | |
| A：完全にできた B：大体できた C：あまりできなかった D：できなかった | |

| 第25コマ | |
|-------|---|
| タイトル | 検索機能の作り方 (2) |
| 目標 | 商品一覧に検索機能を実装する |
| 概要 | 1. 問題 1.1 ECサイトの商品一覧で絞り込み検索ができるようにする |
| 座学・演習 | 座学 |
| 使用教材 | スライド |
| 事前学習 | なし |
| 宿題 | なし |
| 特記事項 | なし |
| 所要時間 | |

| 学習達成度評価指標 |
|--|
| ECサイトの商品一覧で絞り込み検索ができるようにする A：完全にできた B：大体できた C：あまりできなかった D：できなかった |

| 第26コマ | |
|-------|------------------------------------|
| タイトル | アプリケーションの公開 (1) |
| 目標 | Herokuについての基礎知識を習得する |
| 概要 | 1. Herokuについて 2. Herokuへのリリース準備 |
| 座学・演習 | 座学 |
| 使用教材 | スライド |
| 事前学習 | なし |
| 宿題 | なし |
| 特記事項 | なし |
| 所要時間 | |

| 学習達成度評価指標 |
|--|
| Herokuについて A：十分理解できた B：大体理解できた C：少し理解できた D：理解できなかった |
| Herokuへのリリース準備 A：完全にできた B：大体できた C：あまりできなかった D：できなかった |

| 第27コマ | |
|-------|---|
| タイトル | アプリケーションの公開 (2) |
| 目標 | Herokuへの公開を行う |
| 概要 | 1. Herokuへの公開 1.1 Herokuコマンドの紹介 1.2 Herokuのその他機能の紹介 |
| 座学・演習 | 座学 |
| 使用教材 | スライド |
| 事前学習 | なし |
| 宿題 | なし |
| 特記事項 | なし |
| 所要時間 | |

| 学習達成度評価指標 |
|--|
| Herokuへの公開 A：完全にできた B：大体できた C：あまりできなかった D：できなかった |

平成 30 年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」

技術者学び直し講座のモデルとなる IT エンジニアを対象とした e ラーニング講座開設およびガイドラインの実証

■実施委員会

- | | |
|---------|---|
| ◎ 原辺 隆吉 | 大阪情報コンピュータ専門学校 校長 |
| 村岡 好久 | 名古屋工学院専門学校 講師／一般社団法人 TukurouneMono 振興協会代表理事 |
| 谷口 英司 | 日本電子専門学校 情報ビジネスライセンス科科长 |
| 荒木 俊弘 | 麻生情報ビジネス専門学校 統轄校長代行 |
| 小幡 忠信 | 一般社団法人 Ruby ビジネス推進協議会 理事長 |
| 岡山 保美 | 株式会社ユニバーサル・サポート・システムズ 取締役 |
| 高畑 道子 | 一般社団法人女性と地域活性推進機構 理事 |
| 飯塚 正成 | 一般社団法人全国専門学校情報教育協会 専務理事 |

■事業実施分科会

- | | |
|---------|--|
| ◎ 岡山 保美 | 株式会社ユニバーサル・サポート・システムズ 取締役 |
| 呉本 能基 | 大阪情報コンピュータ専門学校 総合情報学部 学部長 |
| 櫻井 健一 | 大阪情報コンピュータ専門学校 総合情報学部 |
| 清水 素彦 | 大阪情報コンピュータ専門学校 総合情報学部 |
| 菅野 崇行 | 吉田学園情報ビジネス専門学校 情報システム学科 |
| 村岡 好久 | 名古屋工学院専門学校 講師／一般社団法人 TukurouneMono 振興協会代表理事 |
| 谷口 英司 | 日本電子専門学校 情報ビジネスライセンス科科长 |
| 荒木 俊弘 | 麻生情報ビジネス専門学校 統轄校長代行 |
| 大磯 洋明 | コーデソリューション株式会社 代表取締役 |
| 大園 博美 | 有限会社 A r i e s 代表 |
| 川端 光義 | 株式会社アジャイルウェア 代表取締役 ／一般社団法人 Ruby ビジネス推進協議会 理事 |
| 石丸 博士 | リバティ・フィッシュ株式会社代表取締役社長 ／一般社団法人 Ruby ビジネス推進協議会 理事 |
| 吉岡 正勝 | 株式会社日本教育ネットワークコンソシアム 事業開発部マネージャー |

■評価委員会

- | | |
|---------|--------------------------|
| ◎ 中野 秀男 | 帝塚山学院大学人間科学部情報メディア学科特任教授 |
| 高畑 道子 | 一般社団法人女性と地域活性推進機構 理事 |
| 飯塚 正成 | 一般社団法人全国専門学校情報教育協会 専務理事 |

平成 30 年度「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」

技術者学び直し講座のモデルとなる IT エンジニアを対象とした e ラーニング講座開設およびガイドラインの実証

教育カリキュラム

平成 31 年 3 月

学校法人大阪経理経済学園 大阪情報コンピュータ専門学校
〒543-0001 大阪府大阪市天王寺区上本町 6-8-4
TEL 06-6772-2233 FAX 06-6772-1272

●本書の内容を無断で転記、掲載することは禁じます。